

# 「政府の役割と国民の福祉」学習の進め方

**目標** 国民の生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている役割や財政・租税の意義について考える。



「地方自治」で  
考えたこと

地方財政の  
状況

首長としての  
政策

## 単元前

「租税教室」で税理士の方から税金の意義や仕組みを学びます。

## 単元前

3つの政策から「単元を貫く学習課題」を設定します。

3つ  
の  
政策

- 社会資本の整備を進めるために、公共事業関係費を増額する
- 次世代への借金を残さないために、公債の発行を減額する
- 少子高齢化に対応するために、社会保障関係費を増額する

学級での検討を通して政策を選択し、  
学級で追究する「単元を貫く学習課題」の( )を決定する。

## 第1時

財政の歳入と歳出における具体的な内容と税金の仕組み・特徴について

Today's think!:  
直接税と間接税の比率はどのようにあるべきか？

## 第2時

財政によって政府が果たしている役割について

Today's think!:  
「小さな政府」を目指すべきか、「大きな政府」を目指すべきか？

## 第3時

社会保障制度のおこりや日本における基本的な内容について

Today's think!:  
日本の社会保障制度を支える財源は何か？

## 第4時

現代社会の特色を踏まえたこれからの社会の目指すべき方向について

Today's think!:  
「高福祉高負担」を目指すべきか、「低福祉低負担」を目指すべきか？

## 第5時

日本の財政の概要について  
講師:海老原 宗貴氏(財務省主計局調査課課長補佐)

## 第6時

「単元を貫く学習課題」について、  
異なる立場・考えの人たちと交流・議論を行います。  
アドバイザー:財務省主計局、北海道財務局、函館財務事務所の皆様

単元を貫く学習課題:  
平成32(2020)年度予算からの( )

( )に賛成か、条件付賛成か、反対か？  
\*( )は3つの政策のうち、学級で選択したもの